

完全保存版！美しい照明実例50、名作照明100。

TIP OF THE TONGUE

MICHAEL
ANASTASSIADES



ARRANGEMENTS

MICHAEL
ANASTASSIADES



BRUTUS
Casa

MAGAZINE HOUSE MOOK extra issue

カーサ ブルータス特別編集



IC LIGHTS

MICHAEL
ANASTASSIADES

美しい照明術

LIGHT & LIFE



FLIGHT

MICHAEL
ANASTASSIADES

EERO AARNIO

デザイナー

好奇心を刺激する オブジェのような形で遊ぶ。

今にも動き出しそうな楽しいデザインを多数手がける
フィンランドデザインの巨匠の自邸を訪ねました。
照明もやっぱり丸い形がお好きなようです。

photo_Chihiko Harada
text_Eri Shimatsuka

アキッレ
&ピエルシャコモ・
カステリオーニの
(Arco)



1.
エーロ・アアルニオの
《SWAN》

フ

フィンランドデザインの
巨匠、エーロ・アアル
ニオが「自分でデザイ
ンして、自分で建てて、自分で払
った」という自邸を訪ねた。

「照明はきちんと光ることが最重
要。空間を見えるようにするのが
役目だからね。フィンランドの夏
は夜も明るいため、出番はほとん
ど冬だけれど、夏の間はオブジェ
なのさ」なるほど、アアルニオさ
んの照明は家具同様、そこにある
だけで存在感を放つものばかりだ。
「色も大切。赤い光は雰囲気も暖
かくする。キノコのようなオレン
ジ色のランプは1970年代にヘ
ルシンキのインテリアショップで
買ったもの。前の家は白い壁が多
かったため、赤い光で部屋が心地
よくなるだろうと思ったんだ」
丸みを帯びた形も自身のデザイン
と相性がよく部屋に調和している。
「プラスチック製品を最も簡単に、
最も安価で作れるのが丸い形だ。
私も《ポールチェア》みたいに丸
いものを多く作ったよ。それに楽
しいじゃないか。デザインする上
で大切なことは、子供心、センス、
そして自分を信じること。子供の
遊びが大人の仕事になる。遊びと
創造性は常に関連しているのさ」
とアアルニオさんは笑った。

エーロ・アアルニオ 1932年生まれ。代
表作の多くは世界中の美術館に所蔵。20
08年コンパッソ・ドーロを受賞。フィン
ランドを代表する家具デザイナー。(Inn
alux)社から照明作品も発表している。



5.
ヴィコ・マジストレッティの
《Atollo glass》



エーロ・アアルニオの
《Nukkumatti》



6.
エーロ・アアルニオの
《Ghost》



3.
ジャンカルロ・
マッティオリの
《Nesso》



8.
Sanka社のランプ



7.
エーロ・アアルニオの
《Tupla Kupla
(Double Bubble)》

「うちはすべてLEDにしたよ」1 一本のラインで照明を
と生まれた優雅な形。名前は白鳥。Melaja社製。2 部屋の
サイズに合うよう。脚を50cmほどカット。移動も簡単。3
1965年に生まれた70年代のベストセラー。形と色に惹かれ
2つ購入。4 小人の赤い帽子をヒントに生まれた。5 イタ
リアのデザイン。形が気に入って、30年前今の家に引っ越
した時に購入。自身の建築にマッチすると思った。6 ある
日見つけた10cmほどのスケッチを形にしたらおもしろそう
だと聞いた。運動的な形から「おぼけ」と名付けた。一本
の足の底を平らにし安定感も十分。7 イッタラとガラスで
プロトタイプを作成後Melaja社と共同開発した。以来、M
elaja社はアアルニオのランプを多く製造している。8 60年
代に買った照明は1950年に設立した照明メーカー、サンカ
社のもの。アクリル製の照明で有名になった。